

第4回クルマ・社会・パートナーシップ大賞 ～日本自動車会議所感謝表彰～

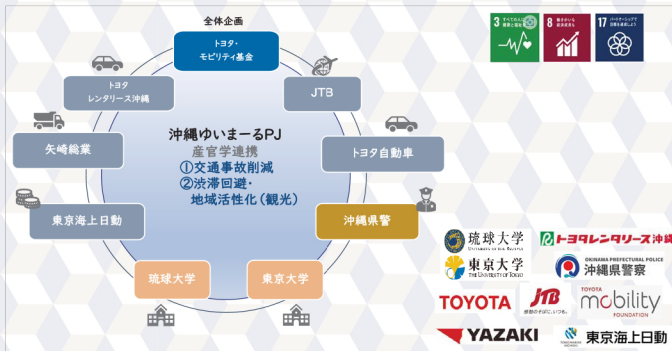
モビリティ・ソリューション賞

「沖縄ゆいまーるプロジェクト」で地域活性

トヨタレンタリース沖縄

トヨタレンタリース沖縄（野原朝昌社長、沖縄県那覇市）は、2020年3月以降、「沖縄ゆいまーるプロジェクト」に着手し、産官学連携による交通事故削減と渋滞解消による地域活性化に尽力している。

沖縄県では、観光客が増えたことに伴いレンタカーの貸出件数も拡大。同時に交通事故も増加傾向にあった。特に日本の交通ルールに対する理解が不足しがちな外国人による



交通事故対策が課題だった。また、観光客が集中することで発生する交通渋滞を交通事故防止の観点からも解消する必要があった。

沖縄の方言で助け合いを意味する「ゆいまーる」をプロジェクト名に冠するこの取り組みは、現在同社とトヨタ・モビリティ基金、沖縄県警察本部、矢崎総業、JTB、トヨタ自動車、東京海上日動火災保険、琉球大学、東京大学大学院工学系研究科の9者が参画。

交通事故削減については、安全運転行動に寄与する車内プッシュ型アプリの開発やドライブレコーダーを活用した映像解析、車両データによるインフラ対策に取り組んでいる。運転診断機能を搭載した車載タブレット「スマイルくん」とその

産官学連携し事故防止と渋滞解消

「受賞者コメント」この度、沖縄県警察本部様など産官学でデータ連携による交通事故削減や地域活性化を目指す取り組みを評価頂き受賞できましたことを心より感謝申し上げます。本活動を通じて、多様なメンバーとの力を合わせて社会課題解決に取り組むこと、地域社会とのパートナーシップの重要性を再認識しました。今後も、県民や観光客が安全で快適に過ごせる環境づくりに努めるとともに、地域社会に貢献してまいります。



第4回 CSP大賞2024

日刊自動車新聞